



報告

## 神戸市内小学校13校区・ 中学校3校区で始動！

【神戸市自治会連絡協議会あいさつ委員会】

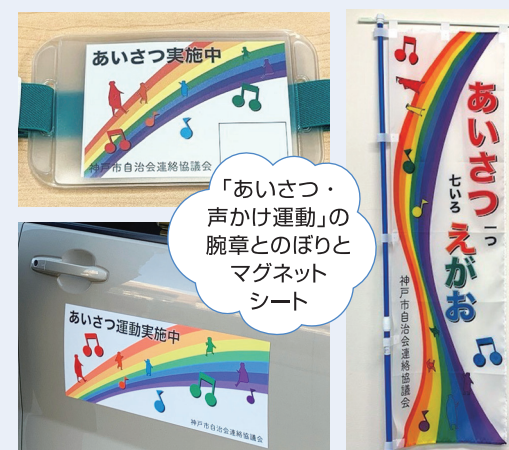
コロナ禍で希薄になった人と人との関係を、もう一度あいさつ・声かけてつないでいく、神戸市自治会連絡協議会発の「あいさつ・声かけ運動」が神戸市内各地で始まり、充実するように進めています。

■安全・安心なまちの土づくり!!  
大人も子どもも、顔見知りの関係を、あいさつと声かけて増やしましょう。

■地域のいろんな団体の協働で見守りなど地域の活動を1団体がすべて担うのは大変なことです。様々な地域団体が協働し、地域ぐるみですすめていきましょう。

■無理なく・楽しく・一歩ずつ  
各個人の状況に応じて、無理をせず、楽しくあいさつ・声かけ運動を進めていきましょう。犬の散歩や通勤途中など「ながら」でもOKです。

あいさつ・声かけ運動をしていることを知ってもらうために着用する腕章やバスタブが必要な場合、今回作成した共通デザインツール(のぼり・腕章・マグネットシート)をご利用いただけます。神戸市自治会連絡協議会までご相談ください。



「あいさつ・声かけ運動」の腕章とのぼりとマグネットシート

神戸大学の学生団体・まちプロジェクトにご協力いただき、「あいさつ」つ、七いろえがおのキャッチコピーと、虹が輝く共通デザインができました。このデザインで活動の目印となるのぼりと腕章、そして青パト用マグネットシートを作成し、あいさつ・声かけ運動をはじめ神戸市内小学校13校区と中学校3校区の地域団体に配布しました。

# 「コミュニティ相談センター」の活動が広がります!

対象が自治会を含む地域団体へ!  
ICT活用をサポートを始めます!

活動が  
スタッフ数も  
増えました!

もくじ

- 1 ページ 自治会役員初任者研修開催案内
- 2 ページ 2022年度相談まとめ
- 3 ページ 講座開催レポート  
●自治会役員初任者研修  
●情報交換&交流会  
●自治会ICT活用勉強会
- 4 ページ 市自治連「あいさつ・声かけ運動」報告  
●ICT活用相談の案内  
●神戸市組織改正のお知らせ

### ■各区実施予定表 主催:各区地域協働課

区	日付	時間	場所	TEL(代表)
東灘	7/22(土)	10時～11時30分	東灘区役所	841-4131
灘	7/8(土)	10時～11時30分	灘区役所	843-7001
中央	7/9(日)	10時～12時	中央区役所	335-7511
兵庫	7/23(日)	10時30分～12時	兵庫区役所	511-2111
北	7/16(日)	10時～11時30分	北区役所	593-1111
北神	7/29(土)	10時～11時30分	北神区役所	981-5377
長田	7/1(土)	10時～11時30分	長田区役所	579-2311
須磨	7/15(土)	10時～12時	須磨区役所	731-4341
垂水	6/24(土)	14時～16時	垂水区役所	708-5151
西	7/8(土)	10時30分～12時	西区役所	940-9501

研修内容

- 第一部 神戸市からの情報提供 (相談窓口一覧、地域活動に関する助成制度など)
- 第二部 研修・交流会など (各区により異なります。詳しくは各区役所HPをご覧ください。)

詳細はこちら▲

### 自治会役員初任者研修を各区で開催します!

神戸市からの情報提供など、自治会活動に必要な基礎情報をお伝えします。今年初めて自治会役員になった方以外にも、役員として活動に不安をお持ちの方にも役立つ講座となっています。みなさま是非ご参加ください。

#### 申込方法

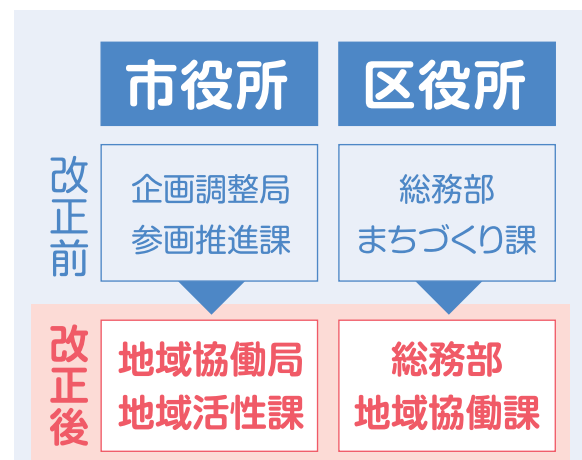
お名前、自治会名、住所、連絡先 (電話番号、メールアドレス)をお伝えください

- 1 神戸市イベント申込サイトにて受付  
神戸市イベント申込サイト 検索
- 2 電子メール community@office.city.kobe.lg.jp へお送りください。
- 3 電話 左記の各区役所電話番号 (担当:地域協働課)へおかけください。

※詳細は各区地域協働課もしくは神戸市地域協働局地域活性課のホームページをご覧ください。

### 神戸市組織改正のお知らせ

神戸市は、多様な主体の参画・協働による持続可能なまちづくりの実現に向けて、地域協働局を新設しました。そして、各区役所のまちづくり課の名称を変更し、地域協働課としました。



### ICT活用相談の案内

## 『ICT活用の相談をお気軽に!』

ホームページによる情報発信やSNSでのコミュニケーションが当たり前になってきた時代において、地域活動においてもICT活用に興味がある自治会が増えています。そこで、「コミセン」でもICT活用専門相談員が相談に応じます!

ICTといっても様々なものがあるので、地域の状況や内容に応じてご相談からICT導入までをサポートします。詳しくは、「コミセン」までお問合せ下さい。

【相談例】

- ホームページを立ち上げたい
- 電子回覧板を導入したい
- 役員会をオンラインでやりたい



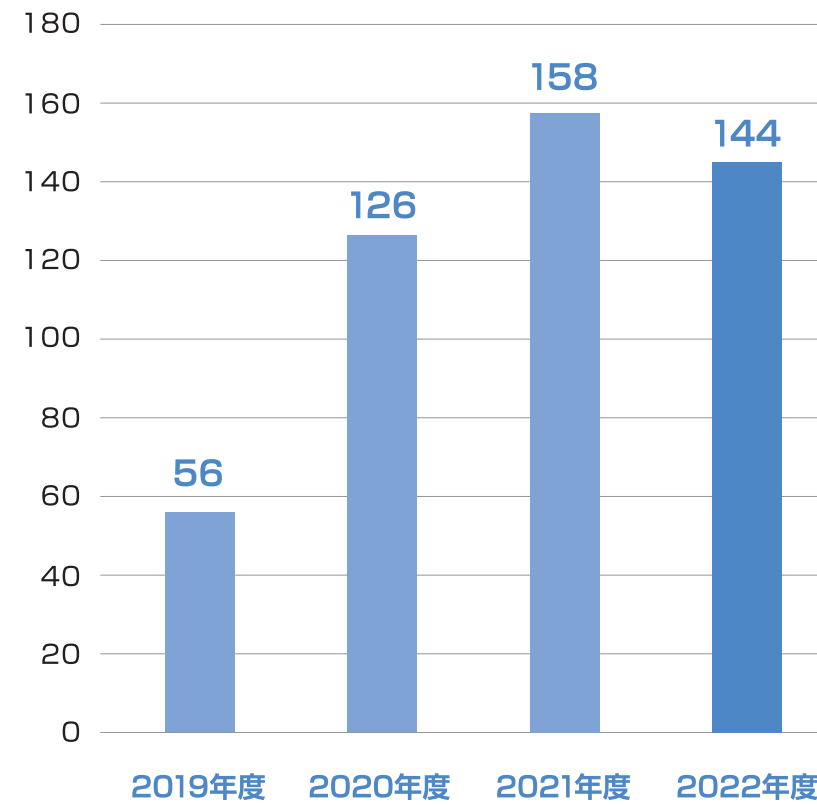
相談まとめ

「2022年度相談まとめ」  
相談内容で多かったのは  
「担い手問題  
& 環境問題」



2019年度から3年間は相談件数が右肩上がり増加していましたが、2022年度は144件と前年度とほぼ横ばいとなりました。最も多い相談は

年度別相談件数



開催報告

「自治会役員  
初任者研修」を  
市内2カ所で開催

2022年度はより多くの方が参加しやすいように、「コミセン」がある長田区を飛び出して市内2カ所で開催しました。



7月2日 会場の様子

7月2日はプレンティ西神中央(西区)、7月9日は東灘区文化センターでしたが、どちらの会場も賑わったこともあって神戸市内各所から参加いただき、両会場あわせて94名と最大規模の開催となりました。



7月9日 ゲストのお話の様子

この研修で配布された「相談窓口助成金等の案内」がまとめられたテキストは参加者から大好評を得て、「自治会活動ハンドブック」として神戸市のホームページからダウンロードできるようにしています。また、自治会役員経験者をゲストにお呼びしてお話し頂いた内容も、多くの方の参考になりました。

自治会活動ハンドブック 検索

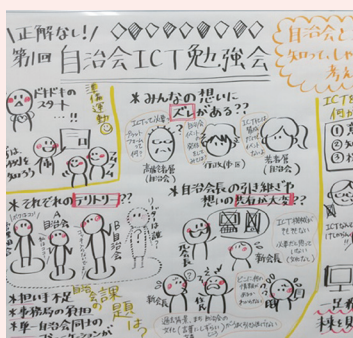
開催日 2022年7月2日・7月9日

コミセン講座開催レポート

「自治会ICT活用勉強会」

開催日 2023年1月21日・2月4日

若い世代が役員になると「電子回覧板を導入したい」「インターネットで自治会の情報発信をしたい」などICTの導入や活用を希望する声がある、というお話しを聞く機会が何度かありました。自治会役員初任者研修で実施した参加者アンケートでも、3割の方が「興味がある」と回答がありま



第1回勉強会のグラフィックレコーディング

した。そこで、自治会へのICT導入・活用に興味がある自治会役員経験者の方々と神戸市職員有志数名とで勉強会を開催しました。実際の導入事例からどのようなことが大きな課題なのか、また自治会側と行政側との意見交換を通じてICT活用の5つの場面やニーズが見えてきました。

情報交換 & 交流会  
子育て世代の地域活動

開催日 2022年12月3日

今回はミニレクチャー「子育て世代の巻き込み方」を成徳まつり実行委員長の川原健士さんにお話し頂きました。子育て世代が地域活動の運営側(担い手)になる3つのステップときっかけづくりを紹介していただきました。また、同じ地域の自治会長さんからは子育て世代が地域で活躍するためのサポートと、自治会



成徳まつり実行委員長の川原さん

の役割についてもお話し頂いたことで、多様な地域団体が協働することによって多くの住民が担い手になれることがわかりました。ミニレクチャーの後には参加者が興味あるテーマに分かれてグループトークをする中で、自治会同士つながりも出ていきました。

これまでの4年間で変わらず、「担い手問題」、そして次に多いのがクリーンステーションの管理をはじめとした「環境問題」です。

【最も多かった担い手問題】  
地域活動の担い手不足は、少子高齢化や共働き世帯の増加に伴い、自治会をはじめとした各地域団体に共通する課題となっています。

【次に多かった環境問題】  
また、不法投棄やクリーンステーションの管理に関する相談や私道に設置する外灯や防犯カメラの相談も多いため、自治会が市民の生活と地続きであることを表しています。

【コロナ禍の相談は減少】  
2022年度は「ウイズコロナ/アフターコロナ」として活動条件が緩和されたこともあり、コロナ禍に関する直接的な相談は大幅に減少し、総会の対面開催に関する相談や防災活動やイベント開催の相談がありました。  
相談者の世代による特徴もあり、主に30〜50代の働き世代からは、数十年前の自治会設立当時の会則・規約の見直しに関する相談、回覧板の電子化、役員の負担軽減のための効率化に関する相談など、「時代にあわせた、誰もが運営しやすい自治会」を目指す相談がありました。メールやオンライン(Zoom)による相談も少しずつ増えています。

相談事例

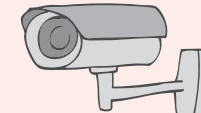
地域でできる防災活動は?



猫の糞尿被害に悩んでいる



防犯カメラを設置したい



役員を嫌がる人が増えた



一方、60代男性では退職後に初めて地域での暮らしを意識し、自宅がある集合住宅内で自治会を立ち上げたいという相談もありました。  
「安心安全で暮らしやすい地域にした」というのは、すべての世代における共通の想いであることがわかります。